

非核の政府を 求める大阪の会

非核の政府を求める大阪の会 豊島 達哉
 〒542-0012 大阪市中央区谷町 7-3-4 (新谷町第3ビル 210号)
 TEL.06(6765)3032 FAX.06(6765)3033
 URL・https://hikaku-osaka.jp/
 E-mail・hikakuosaka@hotmail.com
 hikaku-osaka1986@kind.ocn.ne.jp



第206号 2021年11月1日

ニュース

テロも戦いは完全な失敗

アフガン戦争20年を振り返る

12月に予定しています非核の政府を求める会近畿交流集会の記念講演を当会の常任世話人西谷文和氏にお願いしています。この間のアフガン戦争は何だったのか、西谷氏に講演に先立ってコメントをいただきました。

今年9月、アメリカのボストン大学が対テロ戦争20年を「戦争のコスト面」から総括しました。それによると、アメリカはこの20年間で約8兆ドル(880兆円)の軍事費を費消し、約90万人の命が奪われた、と結論づけています。911事件から始まったアフガン戦争に限って言えば、米国は約2、3兆ドル(250兆円)という巨費を投じて結局、元のタリバン政権に戻ってしまったわけです。2010年1月、私

はアフガン東部の町ジャラバードで、中村哲さんと邂逅しました。広大なガンベリ砂漠に一本の用水路。「この水路で15万人の命が救われる。ここはすぐに緑の森になりますよ」。そんな奇跡が本当に起きるのだろうか？半信半疑の私の前でスコップを片手に水路を掘り進む労働者たちは、ついこの間までパキスタンに逃げていた難民たちでした。2019年12月に中村さんが殺害されました。私は中村さんとその偉大な事業を風化さ

せたくなかつたので2020年10月、現地へ飛びました。奇跡は起きていたのです。砂漠が森になり果樹園が。「このオレンジも、小麦も、みんなナカムラのおかげだ」。インタビュに答える人々はみんな笑顔。ちなみに用水路の総工費はわずか9億円。「武力ではなく、小麦や米で平和を勝ち取るんだ」。中村さんの言葉を噛み締めながらカメラを回しました。そもそもこの戦争は最初から大間違いの戦争でした。911事件の首謀者がオサマ・ビン・ラディンなら、空爆ではなく警察力で探し出して、殺害するのではなく裁判にかけるべきでした。いわば「茶番の戦争」によって、米兵、タリバン兵、巻き込まれた多数のアフガン人の命が奪われ、軍産複合体と復興予算に群がった建設会社が



▲このニュースは西谷氏が代表を務める

- 【非核五項目】
- ① 全人類共通の緊急課題として核戦争防止、核兵器廃絶の実現を求める
 - ② 国是とされる非核三原則を厳守する
 - ③ 日本の核戦力化へのすべての措置を阻止する
 - ④ 国家補償による被爆者援護法を制定する
 - ⑤ 原水爆禁止世界大会のこれまで合意にもとづいて国際連帯を強化する



▲アフガンの中村タワー

核なき世界をめざして④

民主的な会議から生まれた核兵器禁止条約

コロナ禍、命の大切さを実感する日々が続いています。振り返れば、2017年7月7日に採択された核兵器禁止条約は、まさに「武器より命、核兵器より命」という定義を世界に発信した条約だと思えます。今回は、2017年、核兵器禁止条約制定会議を傍聴したときの記録です。

間しか寝ていないまま、かけつけた国連の条約制定会議。そこには民主主義が生きていました。私は、その日の日記に「民主主義ってこれだ!」「民主主義の中から、平和が生まれる」と興奮して書いています。

どの国の代表も対等。小国も堂々と発言します。そして、ヒバクシヤもNGO代表も発言します。一人一人の発言は短く、端的に要点を示します。この会議をまとめるリーダーは、コスタリカ出身のホワイト議長と、その隣の席の国連軍縮担当上級代表の中満泉さん。女性リーダーである会議です。「世界を動かすのは、大国の力や勝手な論理ではない。多数の小国が話し合いで世界を前に進めていく時代なのだ」と思いました。残念なのは、被爆国なのに、この会場で日本政府の姿がなかったことでした。

この国連での傍聴行動や国際フォーラムなどには、2015年の「5・3集会」以来、一緒に国会前で行動してきた方、つまり原水禁の方も共に参加しました。これまで憲法課題では共同してきましたが、核兵器の問題での共同は私にとっては初めてでした。また、ICAN(核兵器廃絶国際キャンペーン)の川崎哲さんたちとも、行動を重ねることに共同を深めていきました。私たちをつないだ力は、「被爆者の犠牲と苦難は繰り返してはならない。生きていくうちに核兵器のない世界を」と願う被爆者の熱意だったのだと思います。2016年4月に被爆者が呼びかけた「国際署名」は、この条約制定を進める大きな力になりました。2017年6月17日(日)、国連近くのハマーシヨルド広場の署名提出集會にジーンズ姿で現れたホワイト議長は、胸の前で手を組んで、「この署名に背中を押してもらっている」と深い感謝を表しました。様々な逆流に負けず、条約を採択させる大きなパワーになった「ヒバクシヤ国際署名」は、条約採択後は世界各国に条約参加を求める署名となり、ついに2021年1月22日、条約発効の日を迎えたのでした。



歴史は、確実に前へと進んでいるのだと思います。長尾ゆり(非核の政府を求める大阪の会常任世話人)シリーズ大阪における国民平和行進の歩み

①-2 「もう一つの平和行進・・・長崎ー東京1800キロ平和自転車リレー」

1958年6月20日、広島原爆慰霊碑前を出発し、東京で開催される第4回原水爆禁止世界大会成功にむけて「広島ー東京1000キロ」の国民平和行進は、8月11日東京に入った時には1万人をこえる人々が歩きまわった。この平和行進運動には全国で約100万人の人々が参加した国民的運動となりました。今日まで64年間、継続されていることがなによりも証です。翌日8月12日から開催された第四回原水爆禁止世界大会は、「世界の平和勢力への勧告」などが決定され、成功しました。

この最初の国民平和行進にもう一つの平和行進のとりにくみがありました。それは、長崎と広島青年団体が中心となって計画された「長崎ー広島ー東京1800キロ平和自転車リレー」です。7月21日長崎を出発しました。「5分でも1時間でも、誰でも平和自転車隊に参加し、原水爆禁止、核非武装地帯設置のため、みんなと一緒に平和を訴えて走ろう」というスローガンをかけ、炎天下の一路東京を目指して走っています。一行の大阪入りは、8月1日、午前11時30分、西淀川区左門殿橋で兵庫県より引継ぎました。総勢80人の兵庫県自転車部隊から在版民主団体、労組の一行300人に引き継がれました。「長崎ー東京平和リレー」の看板を付けた大阪実行委員会(代表小畑忠良大阪原水協代表理事)の宣伝カーを先導で「核武装反対」「ピカドン許すな」などと叫んだタスキを掛け、赤と青の小旗を翻



この最初の国民平和行進にもう一つの平和行進のとりにくみがありました。それは、長崎と広島青年団体が中心となって計画された「長崎ー広島ー東京1800キロ平和自転車リレー」です。7月21日長崎を出発しました。「5分でも1時間でも、誰でも平和自転車隊に参加し、原水爆禁止、核非武装地帯設置のため、みんなと一緒に平和を訴えて走ろう」というスローガンをかけ、炎天下の一路東京を目指して走っています。一行の大阪入りは、8月1日、午前11時30分、西淀川区左門殿橋で兵庫県より引継ぎました。総勢80人の兵庫県自転車部隊から在版民主団体、労組の一行300人に引き継がれました。「長崎ー東京平和リレー」の看板を付けた大阪実行委員会(代表小畑忠良大阪原水協代表理事)の宣伝カーを先導で「核武装反対」「ピカドン許すな」などと叫んだタスキを掛け、赤と青の小旗を翻

しながら炎天下の“サイクリング”でした。沿道の人々から盛んな拍手をうけ、大阪駅近くになると自転車は約400台に達し、桜橋を経て午後一時ころに大阪市役所で昼食（市職が湯茶）をとったのち、御堂筋のメインストリート（右の写真）を一巡しました。



大阪での市中行進のコースは左門殿橋↓中之島（市役所）↓淀屋橋↓御堂筋↓難波↓大國町↓恵美須町↓阿倍野↓堺筋↓本町二↓大手前（府庁）↓天満橋↓北浜二↓南森町↓桜橋↓曾根崎署↓総評前↓天六↓都島大通↓守口↓寝屋川↓枚方↓橋本（京都へ引継ぎ）

現在とはとりくまれていない平和自転車リレーですが、のち、自治労連が反核ライダーのとりくみなど今日的な発展をみせています。

②2年目の平和行進：
「原水爆実験禁止・核武装阻止五千キロ国民平和行進」

1959年は「原水爆実験禁止・核武装阻止五千キロ国民平和行進」として6月10日東京を出発し、広島にむかう平和行進となりました。この時期は日米安保改定に反対する運動がはじまり、中央で安保改定阻止国民会議が発足しました。

安保闘争がしだいに全国化していくなかで第5回原水爆禁止世界大会は8月1日から7日まで広島で開催されました。安保改定が「日本の核武装化と自衛隊の海外派兵に道を開く」などの問題をめぐって、白熱の討論が行われました。政府・自

民党は、広範な国民的基盤をもつ原水爆禁止運動と安保闘争が結びつくことをおそれ、日本原水協を「政治偏向」だとして中傷し、「原水禁運動の政治的偏向」「ヒューマニズムからの逸脱」として国民的分断をはかりました。さらに、2000年、日本共産党の不破委員長が国会での党首討論などで明らかにした日米安保改定作業のなかで日米の「核持ち込み密約」は、日本政府より米国の国益を優先するためにはなんとしても、原水爆禁止運動と安保反対運動を結び

つくことはあってはならない必須事項でした。「日本原水協はアカだ」などの反共キャンペーンを展開し、右翼団体が世界大会に暴力的に妨害するなどなりふりかまわない分裂策動をおこないました。それは「第2原水協」結成の策動としてすめられました。それにもかかわらず、「嵐の中の世界大会」と評せられる第5回世界大会は「ヒロシマ・アピール」

「原水爆禁止運動の原則、目標、共同行動についての勧告」を採択し成功しました。

こうした全国的な運動の高揚に東京、新潟、沖縄の三か所を起点とする延べ63000キロ、参加者1000万人をこえる国民平和行進が大きな貢献したといえます。大阪には7月14、15日に3つのコースから大阪入りする平和行進となりました。一つは東京―京都―大阪、二つは三重―奈良―大阪、三つは和歌山―大阪です。大阪

での行進は以下の通りです。

7月14日〜15日

高槻コース

- * 大山崎・日紡南（京都より引継ぎ）↓高槻市役所
- * 高槻市役所前大会↓西島前↓茨木市役所↓千里丘↓吹田市民会館（昼食・吹田大会）↓上新庄↓長柄橋↓南方面会館↓十三ロータリー↓十三大橋↓梅田↓大阪市役所前↓中之島

枚方コース

- * 橋本・淀川堤防（京都より引継ぎ）↓関西医大前↓枚方市役所
- * 枚方市役所前↓枚方公園前↓中振↓香里園駅前↓田井↓八坂町↓寝屋川市役所前大会↓西小学校↓大和田駅前↓松下本社↓龍田通↓守口市役所前（昼食・大会）↓今市町↓関目↓都島本通↓東野田↓天満橋↓中之島

奈良コース

- * 国分町役場横（奈良県より引継ぎ）↓柏原市役所前
- * 柏原市役所前大会↓



▲59.7.15 寝屋川から守口

老原↓庄之内↓八尾市役所前大会↓久宝寺↓長瀬駅前↓小坂駅前↓布施市役所前大会↓布施駅前↓今里ロータリー↓鶴橋↓上六↓高津高校↓上四↓府庁↓中之島

和歌山コース

（7月13日）◇樽井役場前（和歌山より引継ぎ）

- * 樽井役場前↓泉佐野市役所前（昼食・大会）↓貝塚市役所大会↓岸和田市役所前大会↓泉大津市役所
- * 泉大津市役所前↓高石町↓浜寺公園↓紀州街道↓13号線（府道30号）↓堺市役所前↓天王寺公園↓恵美須町↓日本三↓難波↓御堂筋↓中之島



大阪での平和行進は昨年以上にとりくみが広がっていききました。大阪府婦人団体協議会、大阪府青年団協議会が全面参加を決定し、府下の婦人会、青年団に協力をよびかけました。大阪総評は、6月30日に地協代表者会議を開催、各コースごとに責任地協を決め、各コース千人の動員を決定しました。大阪から広島へ通し行進者に関電労組から1名推薦されました。大阪原水協が用意した10万枚のビラを作成し、小旗1万6千本を用意しました。吹田、茨木、高槻、枚方、守口、岸和田では活発な準備活動を行われ、市長、市議会議長などが先頭にたって歩きました。なかでも岸和田では、市内の小中高の児童生徒が小旗をもって沿道にたって歓迎しました。

(文責 加賀耕平)

2021年意見広告ポスター募集要項

核兵器禁止条約が世界のルールになりました。しかし、唯一の戦争被爆国である現政権は、頑なに核禁条約の署名・批准を拒否しています。コロナ禍のもとで核禁条約の署名・批准を促し、非核の政府、平和憲法を生かす政府実現に向けて、より一層草の根の力、市民社会の力を強めることが求められます。

今年の意見広告ポスターは、この世界の流れに呼応して、一日も早い核兵器のない世界実現のための一助にするため作製します。

○メインスローガン 2021年1月22日から核兵器禁止は世界のルールになりました！

○サブスローガン 軍事費削ってコロナ対策に！賛同金

団体：一口3,000円 個人：一口1,000円 締め切り 11月末日



▲好評な今年のポスター

【今後のとりくみ】

◇非核大阪の会

❖戦跡ウオーク第8回

日時：11月20日(土) 13時30分 JR鶴橋駅集合

※詳細は案内チラシを参照してください

❖非核の政府を求める会近畿交流会・講演会

日時：12月11日(土) 15:00

会場：エルおおさか709号室

テーマ：「テロとの戦いは完全な失敗。アフガン戦争20年を振り返る」
講師：西谷文和さん(イラクの子どもを救う会代表、非核大阪の会常任世話人)

※詳細は案内チラシを参照してください

◇友好団体

❖2021年第66回日本母親大会 in 沖縄 オンライン

日時：11月13日(土) 13:30~

場所：国労会館など府下のサテライト会場

❖2021年日本平和大会 オンライン

日時：11月20日(土) 10:00~(全体集会)、14:00~(特別集会)

❖2021年度大阪原水協総会

日時：11月25日(木) 18:30

場所：大阪府社会福祉会館301

❖2021沖縄連帯集会 in 大阪(安保) オンライン

日時：11月27日(土) 13:30~

会場：大阪グリーン会館 2階ホール

❖大阪革新懇 講演と文化のつどい

日時：12月5日(日) 14:00

会場：大阪私学会館・4階講堂

講演：「世界の取材現場から見た日本」

講師：金平茂紀さん(TBS「報道特集」キャスター)

文化行事：「世相風刺~相撲甚句」桂 文福さん

※会場定員150名 オンライン 参加協力費：1000円

